

センター祭を終えて

6月17日は、午前中、川崎の旭町子ども文化センターで練習し、本番に臨みました。20分間とはいえ久しぶりのステージに、緊張し身体が硬くなってきます。出番が最後でしたので、身体のを抜くよう意識しながらステージに向かいました。いつもよりは指揮を見て歌うことが出来たような気がします。T.Yさんの伴奏に助けられ、「旅」も何とか最後まで持ちました。

打ち上げは、鶴見駅ビルで盛り上がりました。その盛り上がりが、次へ続くことを願いつつ

感想・・T.I

小さなステージとはいえ、新加入、カムバック加入の方々にとってはデビュー戦でしたがいかがでしたか。S.S.さんには会場で録音・写真と活躍していただき、Y.A.さんがコンパデビュー、T.Y.さんが客席デビューと、うれしい支援もたくさんありました。ただ、Y.Y.さんがカムバックデビューのはずが、まだそこまでの快復が間に合わず残念でした。次のステージデビューに期待しましょう。

個人的な反省から、4、5月の練習不足が響いてしまい、達成感の乏しいステージになったような気がしています。たった20分のステージなのに、ずいぶん間違えてしまいました。何とも申し訳ありません。打ち上げで、もう歳を考えよ、というご意見がありました。歳のせいにはしたくありませんが、落ち込みますね。

さて、曲の「でき」に関しては講評する立場の方におまかせするとして、うれしかったことは、「旅」の最後のピアノの和音が切れる前に拍手が来たこと。別に「さくら」は頼んでいないはずなので、ご祝儀・お世辞としても、「横室ファン」の存在を感じてもいいのかも…。そして、打ち上げ

でも取り上げるのを忘れてしまったほど、ソプラノお二人のソロがいつもの練習の通りだったこと。練習のときにいろいろと出た意見がそれなりに反映できたように感じたこと。そして、演奏後にピアノ教室の先生からは、「合唱はいいですね。ことばが使えるから。」と声をかけていただきました。結構ことばが伝わったのかも知れません。合唱は、「メッセージ」。これに尽きるような気がします。

ということで、これからも、音程、リズム、パート音のまとまりといった基本を忘れずに、歌うときには歳を考えず疲れを忘れて背筋を伸ばして椅子の背にもたれることなく両足を床にしっかりつけて踏ん張って、毎回の練習を楽しみつつ、次のステージも目指しましょう。



(K.S.さん撮影)

(みなさんの感想はいかがでしたか？まだ、原稿を募集しています。どしどしお寄せ下さい。)

夏合宿の日程が決まる

夏の合宿が、8月10日(金)11日(土)12日(日)に決まりました。場所は、例年の聖心丹沢学舎です。

大勢の方の参加で、実のある合宿にしたいものです。

ソプラノに新しいメンバーが加わりました。S.さんです。3才のお子様のお母様です。ソプラノは、Y.A.さんに続き、若い力強い仲間が増えて大喜びです。

Y.Y.さんが6月15日に退院しました。一時ははととても大変な状況でしたので、本当に良かったです。この間のことは、次のホームページのY.Y.コラムにY.Y.さん自身が書いていらっしゃいますのでご覧下さい。 <http://amoment.pupu.jp/>

